

令和元年度 公益財団法人さいたま市スポーツ協会

事業報告書

I 市民の健康及び体力づくりの推進（定款 第4条第1号）

1 シニアスポーツ大会開催事業《受託事業》

概ね 45 歳以上の市民を対象にした野球、ソフトボール、サッカー及びバレーボール競技のスポーツ大会を開催するとともに、健康増進、体力向上を図るイベントを開催した。

実施日時：令和元年 6 月 8 日（土）

会 場：浦和駒場スタジアム・浦和総合運動場・浦和駒場体育館

対 象 者：サッカー・軟式野球 50 歳以上、ソフトボール 60 歳以上

バレーボール 45 歳以上、健康フェア 40 歳以上

参 加 者：26 チーム 699 名（前年 26 チーム 669 名）

参 加 費：1 チーム 5,000 円

【種目別チーム・参加者内訳】

種目	チーム	参加者
サッカー	11	275
軟式野球	4	85
ソフトボール	6	93
バレーボール	5	69
健康フェア	-	177
合計	26	699

2 リンパエクササイズ教室開催事業

身体にあるリンパ節の滞りを取り、新陳代謝を高める体操教室を開催し、免疫機能を高め、健康維持を目的とする。中・高齢者の方でも気軽に参加できるエクササイズ教室を開催した。

（毎週木曜日／全 8 回）

開催時期：①令和元年 5 月 2 日・9 日・16 日・23 日・30 日・6 月 6 日・13 日・20 日

②令和元年 10 月 31 日・11 月 7 日・14 日・21 日・28 日・12 月 5 日・12 日・19 日

③令和 2 年 2 月 6 日・13 日・20 日・27 日

※3 月 5 日・12 日・19 日・26 日の 4 回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため施設休止により中止

会 場：サイデン化学アリーナ 多目的室

参 加 者：① 206 名（延）（前年 136 名（延））

② 176 名（延）（ 121 名（延））

③ 81 名（延）（ 145 名（延））

参 加 費：6,000 円

3 シェイプアップキックボクシング教室開催事業

生涯スポーツの一環として、体力増進と基礎代謝の向上に効果があり、ダイエット効果やストレス発散効果も高いボクシングに、キックの動作を加えより全身運動できる教室を開催する事によって健康増進を図る教室を開催した。(毎週土曜日／全5回)

開催時期：令和元年 11 月 9 日・23 日・30 日・12 月 7 日・14 日

会 場：サイデン化学アリーナ 多目的室

参加者：159 名 (延) (前年 116 名 (延))

参加費：4,000 円

4 チューブ体操教室開催事業

トレーニング初心者から気軽に使うことができ、使い方によっては筋力トレーニング上級者のトレーニングにも役立つチューブを使用した教室を開催し、基礎体力の向上と健康維持を図った。(毎週木曜日／全8回)

開催時期：令和元年 7 月 4 日・11 日・18 日・25 日・8 月 1 日・8 日・15 日・22 日

会 場：サイデン化学アリーナ 多目的室

参加者：82 名 (延) (前年 124 名 (延))

参加費：6,000 円

5 親子で楽しむスポーツチャレンジ開催事業

親子で楽しめる体験型イベントを開催し、気軽にスポーツに触れ合い、楽しめるイベントを開催した。

開催期日：①平成 31 年 4 月 29 日 (月・祝) サイデン化学アリーナ

種目：バドミントン・卓球・トランポリン・なぎなた・太極拳・バルシューレ
・義足体験

②令和元年 7 月 13 日 (土) サイデン化学アリーナ

種目：バドミントン・卓球・トランポリン・赤ちゃんハイハイ・バルシューレ

③令和元年 10 月 5 日 (土) サイデン化学アリーナ

種目：50m 走・握力・立ち幅跳び・アクティブチャイルドプログラム・親子運動会

④令和 2 年 2 月 29 日 (土) サイデン化学アリーナ

種目：総合型地域スポーツクラブ (17 種目)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

対 象 者：一般市民

参加者：① 657 名 (延) (前年 703 名 (延))

② 988 名 (延) (209 名 (延))

③ 291 名 (延) (147 名 (延))

④ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

II 体育・スポーツ指導者の養成及び資質の向上（定款 第4条第2号）

1 さいたまスポーツセミナー開催事業

市内スポーツ指導者を対象に、理論・実践方法を身に付け、スポーツ指導者としての総合的な資質の向上を図ることにより、競技力向上及び生涯スポーツの振興に寄与することを目的として開催を予定していたが、中止となった。

対象者：一般市民

参加者：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため施設休止により中止

III 体育・スポーツ団体及びスポーツ少年団の育成（定款 第4条第3号）

1 加盟団体助成事業

加盟団体の活動を支援するため、団体運営に必要な費用を補助した。

期間：令和元年8月

対象：加盟団体

2 スポーツ少年団育成事業

青少年スポーツを振興することにより、心身の健全な育成に資することを目的とし、スポーツ少年団を育成した。（「スポーツ少年団事業報告」参照）

IV 加盟団体の競技力向上及び大会等への選手の派遣（定款 第4条第4号）

1 各種大会派遣費補助事業

加盟団体に登録している選手等が関東大会、全国大会、国際大会又はこれらに準ずる各種スポーツ大会に出場する際に、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

【各種大会派遣補助事業（助成件数）】（前年 52 件）

	団体(件)	個人(件)	合計
全国大会	9	29	38
関東大会	7	10	17
その他	1	3	4
合計	17	42	59

全国大会出場：13種目・29大会
（個人147名・団体9チーム）
関東大会出場：9種目・17大会
（個人115名・団体7チーム）
その他：都市対抗野球（1チーム）
国際大会：個人3種目3名

2 スポーツ振興基金事業

本協会の加盟団体のうち、主に市内在住・在学の小中学生等を対象とし、計画的かつ効果的なスポーツ事業を実施する団体の中からスポーツ振興基金交付する団体を選定し補助を行った。

実施団体：さいたま市サッカー協会（2年目）

さいたま市ソフトボール協会（1年目）

V 各種大会、講習会及び各種スポーツ事業の実施並びに援助（定款 第4条第5号）

1 市民体育大会開催事業《受託事業》

さいたま市が主催する市民体育大会開催業務を受託し、通年で各加盟団体の大会を開催するとともに、大会を主管する加盟団体に対し、大会運営に要する費用の一部を補助した。

開催期日：平成31年4月～令和2年3月

会場：さいたま市内体育施設 等

対象者：一般市民

大会数：加盟団体32団体が開催

2 団体主催大会開催補助事業

加盟団体が主催する大会、講習会等に対し、その費用の一部を補助した。

期間：平成31年4月～令和2年3月

3 スポーツ教室開催補助事業

市民を対象としたスポーツ教室（団体の特定者の講習・研修会を除く。）を実施する加盟団体に対して、その費用の一部（5万円）の補助を8団体に行った。

補助団体：テニス・スケート・バドミントン・弓道・山岳・なぎなた・太極拳・トランポリン

4 親子サッカー教室開催事業

2つのJリーグチームのホームタウンとなっている「サッカーのまち」さいたま市。全国でも屈指のサッカー王国で、「見る」だけでなく「参加する」スポーツをアピールし、親子で楽しみながらサッカーに親しむ教室の開催を予定していたが、参加者が集まらなかったため、中止となった。

開催時期：中止

5 市民スケート教室開催事業

家族・友人同士で気軽に楽しめるウインタースポーツであるスケートの指導を参加者の技能に合わせて行った。

開催期日：令和元年12月14日（土）・15日（日）

会場：沼影アイススケート場

対象者：一般市民（小学生以上）

参加者：182名（延）（前年 187名（延））

参加費：2,200円（貸靴代別途）

6 障害者交流スポーツ「フットサル教室」開催事業

障害のある方々向けに、障害の種類や程度に合わせて参加するフットサル教室を開催した。また、元プロサッカー選手の指導を得て技術の向上と楽しむ場を提供した。

開催期日：令和2年2月1日（土）

会 場：サイデン化学アリーナ サブアリーナ

対 象 者：障害がある一般市民

参 加 者：34名（前年 27名）

参 加 費：無料

VI 体育・スポーツに関する調査研究及び情報発信（定款 第4条第6号）

1 ホームページ充実運営

本協会ホームページに行事予定、ディスクロージャー等を掲載し、本協会事業を積極的に発信した。また、加盟団体に対する各種申請書等の様式を掲載するなど、電子申請窓口として活用した他、情報発信、会員募集及び市内体育・スポーツ関連情報を提供した。

アドレス：<https://www.saitamacity-sports.or.jp/>

内 容：協会概要、事業報告・計画、予算・決算、参加者募集記事の掲載 等

2 公式レポート・ツイッター充実運営

ホームページに設置したレポート及びツイッターにおいて、教室募集状況等のリアルタイムなスポーツ情報発信を行うとともに、加盟団体やスポーツ少年団部会などへ市内スポーツ関連情報を発信した。

3 広報誌等発行事業

本協会の事業内容、加盟団体の活動及び体育スポーツの情報を掲載した広報誌を発刊するとともに、本協会事業の周知・宣伝に努めた。また、令和元年度も日本スポーツ振興センターの助成を受け4万部への増刷を行った。

広 報 誌：スポーツライフさいたま 16号（A4・見開き・52ページ）

印刷部数：40,000部

発刊回数：年1回 3月発行

配 布 先：協会加盟団体・市内公共施設・協賛企業 等

VII 市内スポーツ施設の管理運営に関する事業（定款 第4条第8号）

1 大原スポーツ広場管理運営事業

多目的に使用できる大原スポーツ広場の管理運営を行い、グラウンドの貸出や市民スポーツの振興に役立てた。

【利用種目内訳】（前年 158 件 27,436 名）※総合型地域スポーツクラブ占有利用分除く

利用種目	申込件数	利用人数
野 球	37	6,107
サッカー	77	12,237
ラグビー	7	320
その他	6	8,892
合 計	127	27,556

VIII その他目的を達成するため必要な事業（定款 第4条第9号）

1 専門委員会開催

本協会の事業を専門的に検討するために総務・財務・広報・実行委員会を開催した。

委員会名	日 時	内 容
総務委員会	令和元年 7月31日（水）	スポーツ協会 規程の一部改訂について 等
	令和元年 9月17日（火）	
	令和2年 2月25日（火）	
財務委員会	令和元年 8月 5日（月）	賛助会員の募集について 等
広報委員会	令和元年 8月 7日（水）	広報誌発刊について 等
実行委員会	平成31年 4月25日（木）	総合開会式について 等

会 場：サイデン化学アリーナ

2 自主財源確保調査研究事業（政令指定都市スポーツ協会研究協議会）

昨今の財政事情を踏まえ、組織の財政健全化と自主財源確保の方策を調査・研究するとともに、政令市の体育協会・スポーツ協会が一堂に会す研究協議会に参加し、意見交換・情報共有を図った。

開催期日：令和元年 9月19日（木）～20日（金）

開 催 市：公益財団法人広島市スポーツ協会

会 場：ホテルメルパルク広島

参 加 者：20 体育協会・スポーツ協会 49 名

3 AED（自動体外式除細動器）貸出業務

本協会及びスポーツ少年団等がAED（自動体外式除細動器）の設置のない遠隔地等で活動を行う場合、迅速な救命活動を実施することができるようにするため、AEDの貸出を行った。

貸出台数：6 台

貸出件数：32 件（前年 22 件）

貸出料金：無料

4 スポーツ用品貸出事業

市民スポーツ振興の推進を目的として、本協会が所有するスポーツ関連用具のレンタルを行った。

貸出備品：バドミントンラケット・プラカード・テント・表彰盆等

5 さいたま市関連協力事業

①体育賞表彰式協力事業《さいたま市 協力事業》

体育スポーツの振興に貢献した者及び各大会に優秀な成績を収めた者を表彰し、その功績及び栄誉をたたえた。なお、新型コロナウイルス感染症のため表彰式は中止となり賞状・記念品の授与のみとなった。

開催期日：令和2年3月14日（土）

会 場：市民会館おおみや

対 象 者：競技団体優秀選手及び功労者等

②さいたま国際マラソン協力事業《さいたま市等 協力事業》

さいたまスーパーアリーナをスタート・ゴールとする、全国規模のさいたまシティマラソンを開催の運営支援を行った。

開催期日：令和元年12月8日（日）

会 場：さいたまスーパーアリーナをスタート・ゴールとする市内特設コース

参 加 者：約18,000名

6 総合開会式開催事業

本協会の存在感をアピールし、関連団体との絆や連帯感を高めるために、加盟団体とスポーツ少年団部会が一堂に会し、平成31年度シーズンの幕開けとなる総合開会式を行った。

開催期日：平成31年4月29日（月・祝）

会 場：サイデン化学アリーナ

参 加 者：約750名（延）

7 協会表彰式

本協会独自の表彰を設け、総合開会式内でスポーツ協会賞及び優秀指導者賞を授与した。

開催期日：平成31年4月29日（月・祝）

会 場：サイデン化学アリーナ

受 賞 者：スポーツ協会賞 24名

優秀指導者賞 13名

令和元年度 さいたま市スポーツ少年団

事業報告書

I スポーツ少年団育成指導の援助（規程 第5条第1号）

1 スポーツ少年団種目別部会等助成事業

スポーツ少年団加盟団体の活動を支援するため、各部会に対し、必要な助成を行った。

期 間：令和元年9月

算出方法：基本額 30,000 円 + @570 × 団員数

2 スポーツ少年団大会派遣補助事業

スポーツ少年団に登録している選手等が関東大会又は全国大会に出場する際に、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

【各種大会派遣補助事業（助成件数）】（前年 7 件）

	団体(件)	個人(件)	合計
全国大会	1	1	2
関東大会	3	0	3
合計	4	1	5

全国大会出場：団体 与野水球クラブ（春）
個人 修心館空手
関東大会出場：団体 岩槻クラブ（野球）
大宮パワーズ（野球）
宮原ジュニアバレーボール

3 スポーツ少年団大会・部会大会開催事業

各種目別に、さいたま市スポーツ少年団主催によるスポーツ少年団大会及びスポーツ少年団主催の部会大会を開催し、市内のスポーツ少年団の競技力向上及び健全育成を推進した。

4 スポーツ少年団地域交流推進事業

他市町村スポーツ少年団との交流により、団員のコミュニケーション能力を高めるとともに、単位団数の少ない種目の活動を活発化させるため、地域交流に対し、必要な助成を行った。

【実施種目内訳】

No	部 会	期日	大会名
1	サッカー	7月21日～22日	森田杯少年サッカー大会
2	サッカー	9月22日～23日	浦和 Jr サッカー招待大会
3	バスケット ボール	11月23日～12月8日	さいたま市スポーツ少年団・ 第17回ミニバスケットボール地域交流大会
4	野球	9月15日～9月23日	第23回ヤマブキ・ハナミズキ杯争奪 岩槻・蓮田交流少年軟式野球大会
5	野球	9月22日～29日	令和元年度トヨタカローラ埼玉旗争奪 第16回さいたま市スポーツ少年団地域交流少年軟式野球大会

No	部 会	期 日	大会名
6	野球	8月3日～12日	第8回浦和カップジュニア大会
7	ソフトボール	8月24日～10月6日	さいたま市スポーツ少年団ソフトボール秋季大会
8	ソフトテニス	10月6日	令和元年度さいたま市ジュニアソフトテニス研修大会
9	卓球	12月7日	第18回地域交流卓球大会
10	陸上	10月13日	浦和スポーツ少年団招待親善陸上記録会

II スポーツ少年団指導者及びリーダーの養成（規程 第5条第2号）

1 スポーツ少年団指導者現地研修会派遣事業

県内市町村スポーツ少年団指導者が、種目別大会の今後の運営方法について協議する研修会に、スポーツ少年団の各種目部会から代表者を派遣し、相互の情報交換を通して指導者の資質向上を図った。

実施日時：令和2年1月25日（土）～26日（日）

会 場：群馬県磯部温泉『ホテル磯部ガーデン』

対 象 者：スポーツ少年団各種目別代表・本部員

参 加 者：23名

【内訳】：サッカー部会 8名 バスケットボール部会 3名
 野球部会 10名 ソフトボール部会 2名

2 スポーツ少年団指導者認定員養成講習会事業

スポーツ少年団の指導者資格である『スポーツ少年団認定員』の養成講習会を開催して、有資格指導者を増やすとともに指導者の資質向上を図った。

実施期日：前期 令和元年9月7日（土）・8日（日）

後期 令和元年11月16日（土）・17日（日）

会 場：ときわ会館

対 象 者：少年団登録指導者・登録予定指導者

参 加 者：前期 182名

後期 55名 計 237名（前年 計 269名）

参 加 費：前期：2,160円

後期：2,200円

内 容	講 師	
	前期	後期
スポーツ少年団の理念とその意義	小倉 均	小倉 均
スポーツ少年団の組織と運営	小倉 均	小倉 均
運動適性テスト	山下 實	山下 實

内 容	講 師	
	前期	後期
文化としてのスポーツ	小倉 均	小倉 均
指導者の役割	大澤 静香	大澤 静香
トレーニング論 I	大澤 静香	長谷川 司
スポーツ指導者に必要な医学的知識 I	塩野 潔	塩野 潔
スポーツと栄養	小林夕紀恵	小林夕紀恵
指導計画と安全管理	小林夕紀恵	小林夕紀恵
ジュニア期のスポーツ	中野 孝行	長谷川 司
地域におけるスポーツ振興	山下 實	山下 實

3 スポーツ少年団母集団育成研修事業

スポーツ少年団における「母集団」の意義と具体的な活動方法についての講習会を開催し、スポーツ少年団活動の基盤を支える母集団の育成を図った。

実施期日：令和元年 7 月 20 日（土）

会 場：ときわ会館

対 象 者：スポーツ少年団母集団

参 加 者：141 名（前年 150 名）

参 加 費：無料

内容	講師
スポーツ少年団と母集団	さいたま市スポーツ少年団 副本部長 長谷川 司
トップアスリートから学ぶ少年期の コンディショニング方法	一般社団法人健康につぼん 代表理事 遠山健太
母集団活動について	埼玉県スポーツ少年団 本部員 山下 實
青少年に必要な食育	株式会社野口医学研究所 管理栄養士 中西恭子・小暮貴子

4 リーダー育成事業

団員の個性伸長・少年団の組織的成長を目的に定められた日本スポーツ少年団リーダー制度にもとづき、リーダー会の組織化と基盤整備について研究・援助を行う。

①2019 年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

「日本スポーツ少年団リーダー制度」に基づき、リーダーの資質の向上をはかるとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として実施するシニア・リーダースクールにさいたま市より派遣した。

実施期日：令和元年 8 月 8 日（木）～12 日（月）（4 泊 5 日）

会 場：国立中央青少年交流の家

対 象 者：（1）団員登録を行い、義務教育を修了した 20 歳未満の者（2019 年 4 月 1 日現在）
（2）ジュニア・リーダー認定資格を有する者又はリーダー制度に定める活動単位
により参加資格を認められた者

参 加 者：本太スパークルミニバスより 2 名 （前年度 3 名）

②埼玉県スポーツ少年団リーダースクール（ジュニアコース）

市町村スポーツ少年団リーダーの資質の向上と団活動の活発化を図るため、埼玉県スポーツ少年団が実施する研修会に、さいたま市より派遣を行った。

実施期日：令和元年 8 月 16 日（金）～18 日（日）2 泊 3 日

会 場：スポーツ総合センター

対 象 者：スポーツ少年団における登録リーダーで、中学 1 年生から中学 3 年生までの者

参 加 者：本太スパークルミニバスより 7 名

七里ジュニアミニバスより 3 名 計 10 名 （前年 10 名）

③ジュニア・リーダー育成研修会

小学校の卒業を契機に単位団活動をやめてしまう団員を、中学生以上でも継続して活動してもらうため、リーダーの役割や楽しさ、素晴らしさを 知ってもらい、活動の推進を図る研修会を開催した。

実施期日：令和 2 年 1 月 18 日（土）

会 場：浦和コミュニティセンター

対 象 者：さいたま市スポーツ少年団に所属する 5・6 年生の団員

参 加 者：FC 寿能サッカー 1 名

本太スパークルミニバス 12 名

七里ミニバス 4 名 計 17 名

5 全体研修会

近年、スポーツ現場において、反倫理的行為（指導者の競技選手に対する暴力、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等）の各種ハラスメント問題が発生しており、このような問題について、今後の各単位団の活動において検討していただくために研修会を開催した。

実施期日：令和元年 6 月 22 日（土）

会 場：市民会館おおみや

対 象 者：指導者・父母会

参 加 者：446 名

Ⅲ スポーツ少年団体力テストの実施援助（規程 第5条第4号）

1 体力テスト実施事業

発育・発達の著しい団員の健康管理や、活動計画策定の基礎資料となる運動適性テストの実施促進を図った。

Ⅳ スポーツ少年団の団登録（規程 第5条第5号）

1 スポーツ少年団登録受付事業

各単位団からの登録を受理し、埼玉県・日本スポーツ少年団への登録を行った。

受付期日：令和元年6月22日（土）～8月31日（土）

内 容：団員・指導者登録証（ワッペン）等の交付

登録数：団 数 247 団 前年比（－ 6）

指導者数 2,924 名 （＋ 57）

団員数 8,561 名 （－ 5）

Ⅴ その他、目的達成に必要な事業（規程 第5条第6号）

1 スポーツ少年団専門委員会開催

スポーツ少年団本部事業を検討し、活動を推進するために委員会を設置した。

2 広報誌発行事業

団員・指導者に対して情報提供を図るとともに、本団の活動・理念を広く市民に発信するため、スポーツ協会広報誌の発行に合わせて少年団活動の情報発信を行った。

3 さいたま市関連協力事業

スポーツ少年団派遣事業《公益社団法人さいたま観光国際協会 協力事業》

姉妹都市であるメキシコ・トルーカ、アメリカ・リッチモンドへの派遣事業へのスポーツ少年団に所属する団員の募集等について周知協力を行った。